

## 基本目標1 生涯にわたってスポーツに親しむ子供たちの育成

乳幼児期の運動、保育・幼児教育の現場における運動遊びの習慣化や信州型自然保育の取組みとして、地域特有の自然環境を活用した「外遊び」を中心に運動遊びに得る「楽しさ」を通じて幼児期に育むべき志向・能力を向上目指します。また、学齢期までの継続的なスポーツの機会を通じて、子どもたちがスポーツの意義・価値を実感でき、生涯スポーツへのきっかけとなるような支援を行うことでスポーツ機会の充実と体力向上を図ります。

個票No.	担当課	基本施策	個別施策	取組(事業)名	取組み(事業)の概要	前年度実績	本年度実績	評価	評価説明	評価に対する意見・要望等
1-1-①-1 P2	子育て支援課	1-1 運動遊びによる就学までのスポーツの土台づくり	①発達を促す基礎となる親子ふれあい遊びの推奨	東御の子ども元気の育ちを支える事業	子育て支援センター施設内だけでなく、外遊びの機会を創出し、遊びが楽しめる取組みを行う。①親子ふれあい運動遊びプログラムの実践(ポケット広場、すくすく広場、みまき未来館)②自然活動体験(中央公園、四季の森、芸術むら公園、海野宿)	①7回実践 173人参加 ②13回実施 230人参加	①7回実践 113人参加 ②8回実施 156人参加	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人数制限をして事業実施をしたため、前年度より参加人数が減少いたしました。来年度も新型コロナウイルス感染症対策をしながら事業実施をしていきます。	
1-1-①-2 P3	子育て支援課	1-1 運動遊びによる就学までのスポーツの土台づくり	①発達を促す基礎となる親子ふれあい遊びの推奨	子ども育ちを支える人材育成支援事業	子育て支援サポーター養成者フォロー講座の開催	1回開催 30人参加	1回開催 30人参加	A	目標どおりに実施しました。	

## Ⅱ 前期アクションプランにおける取組（事業）の進捗管理評価シート

個票No.	担当課	基本施策	個別施策	取組（事業）名	取組み（事業）の概要	前年度実績	本年度実績	評価	評価説明	評価に対する意見・要望等
1-1-②-1 P4	子育て支援課	1-1 運動遊びによる就学までのスポーツの土台づくり	②幼児期に子どもたちが主体に遊べる機会の充実	公立保育園における自由保育の推進	<p>〈取組み内容〉保育指針に基づき、保育現場において自由保育を推進します。自由は放任の意味ではなく、アクティブラーニングの実現のために</p> <p>①主体的：子供が自分で進んでやろうとすることと同時に自分がやろうとすることに見通しをもって振り返ること</p> <p>②対話的：自分の考えや感じたことを他の人に伝えあうこと。自分の考えに他の人の考えを取り入れながら自分もまた考えていくこと</p> <p>③深い学び：なぜ？という理由や物事の仕組みを考えることによって学びをさらに深めることを培う活動（自由保育）の環境づくりを実施します。</p>	(継続実施)	<p>新型コロナウイルス感染拡大により、園行事等に影響があったものの、保育所保育指針に則った保育を実践しました。運動会は、「運動参観日」として年齢クラスごとに実施（10月1・2日）しました。</p>	A	園児の主体的、対話的で深い学びにつながる日常的な「遊び」について、安全・衛生面等に配慮しながら実施しました。	
1-1-③-1 P5	子育て支援課	1-1 運動遊びによる就学までのスポーツの土台づくり	③運動遊び・自然体験活動等による保育・幼児教育の充実	運動遊び、信州型自然保育支援事業	<p>運動遊び、信州型自然保育支援事業について、運動指導士等の派遣を受け、信州型自然保育活動支援、毎月の運動あそび専門保育士部会での指導及び2歳児3歳児運動遊び助言による指導を受け、保育士の資質向上を図ります。</p>	(継続実施)	<p>新型コロナウイルス感染拡大により、園行事等に影響があったものの、体験活動など地域資源を活用した保育を実践しました。一方、地域との交流活動は実施しませんでした。</p> <p>運動指導士による助言及び指導等については、計画通り実施しました。年長児対象の里山活動についても全園実施しました。</p> <p>信州型自然保育は、R2年10月13日付で認定更新しました。</p>	B	地域との交流活動など一部行事を中止せざるを得ませんでした。運動遊び等園児の成長に寄与する園活動は工夫して実施しました。	
1-2-①-1 P6	文化スポーツ振興課	1-2 小学生期のスポーツへの円滑な接続	①学校体育及び教科外・放課後活動充実のための専門的支援	体力・運動能力等調査への専門的支援	<p>毎年度、小学5年生及び中学2年生を調査対象として実施する「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、事前準備段階から体力向上推進委員会、身体教育医学研究所、スポーツ推進委員による連携を図り、各種調査の正確な実施を徹底し、適正な調査結果が得られるよう努めます。</p>	<p>スポーツ推進委員が企画・運営をし、健康体力測定会を実施した。</p> <p>・握力・上体起こし・長座体前屈 ※1(・反復横跳び・立ち幅跳び・20mシャトルラン) ※2(・開眼片足立ち・10m障害物歩行・6分間歩行)</p> <p>※1:6~64歳 ※2:65~79歳</p> <p>を項目とし、計19名の参加があった。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響によって、各種調査及び体力測定会の実施に至らなかった。</p>	C	新型コロナウイルス感染症対策による、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の中止に伴い、当市の体力測定会も中止とした。	

## Ⅱ 前期アクションプランにおける取組（事業）の進捗管理評価シート

個票No.	担当課	基本施策	個別施策	取組（事業）名	取組み（事業）の概要	前年度実績	本年度実績	評価	評価説明	評価に対する意見・要望等
1-2-①-2 P7	文化スポーツ振興課・教育委員会	1-2 小学生期のスポーツへの円滑な接続	①学校体育及び教科外・放課後活動充実のための専門的支援	放課後子ども教室事業の実施	(R元年度) ・教育委員会、校長会等への趣旨、方針説明 (R2年度以降) ・運営方針、実施要領の作成 ・ニーズ把握、事業計画作成 ・スタッフの確保 ・お知らせ、参加者募集(登録) ・スタッフ調整会議の開催(プログラム検討、PDCA 管理等)	「放課後遊び塾」として、各小学校2回の延べ10回実施。(4月～7月)参加人数延べ152人。(高学年対象)教育課職員をスタッフとして、遊びの指導は東御清翔高校のボランティア部員と行う。	「放課後遊び塾」は、新型コロナウイルス感染拡大防止による休校のため、授業数確保の観点から中止としたが、文化スポーツ振興課との共催による「元気塾」の協力を行った。北御牧小学校にて全4回実施。参加人数延べ78人。(全学年対象)	B	地域おこし協力隊の鈴木さんの指導の下、参加児童は、のびのびと体を動かし、遊びの体験ができ、異年齢間の交流も図れた。 今後、「放課後遊び塾」と「元気塾」との整合を図り、より充実した放課後等の活動を推進していく。また、民生児童委員など地域の方へも情報提供を行い、協力体制の構築を検討していく。 各小学校2回の延べ10回実施予定。	
1-2-③-1 P8	教育課・文化スポーツ振興課	1-2 小学生期のスポーツへの円滑な接続	③様々なスポーツ種目の体験や、一流選手等との触れ合いができる機会の提供	日本体育大学体操部との交流	日体大体操部の東御市合宿にあわせ、運動指導を主とした各学校との交流会を実施します。交流会では、体ほぐし運動等、各校の希望に応じた実技指導をしてもらうとともに、模範演技を鑑賞します。	8月28日(水)の午前中、市内全小学校に於いて交流会を実施した。	9月2日(水)に昨年度同様の計画を立てたが、コロナ禍のため中止となった	A	子どもたちにも大好評で、運動に対するあこがれと意識づけに有効である。各校より毎年行ってほしいとの要望が出されている。日体大体操部の合宿にあわせて、恒例化するとともに、中学校との交流について検討していく。	

## Ⅱ 前期アクションプランにおける取組（事業）の進捗管理評価シート

個票No.	担当課	基本施策	個別施策	取組（事業）名	取組み（事業）の概要	前年度実績	本年度実績	評価	評価説明	評価に対する意見・要望等
1-3-②-1 P9	教育課・文化スポーツ振興課	1-3 中学生期のスポーツニーズへの対応	②望ましい運動部活動のための支援体制づくり	運動部活動への支援体制づくり	・地域での支援体制検討会議の開催（通年） （体育協会、総合型地域スポーツクラブ、中学校運動部活動顧問、外部指導者、部活動指導員等が連携し地域における支援体制の充実に向けた検討を行う。）	7月11日(木)に「中学生期のスポーツ活動検討会議」を開催し、「健全な部活動のあり方について、保護者への継続的な啓発を図っていく」「体育協会で運動部活動外部講師を招集し、運動部活動指針への理解や協力を求める」こと等が話し合われた。	・東部中学校に部活動指導員2名を配置した。	A	・「中学生期のスポーツ活動検討会議」はコロナ禍のため開催を見送った。学校のニーズに合わせて部活動指導員を配置できたことは成果である。スポーツ係やスポーツ協会との連携を更に密にし、部活動指導員の配置がより進むよう検討する	
1-3-③-1 P10	教育課・文化スポーツ振興課	1-3 中学生期のスポーツニーズへの対応	③中学でのスポーツ離れを防ぐための「ゆる部活・ゆるスポーツ」等の導入	ゆるスポーツクラブの設置に関する検討	地域型スポーツクラブの指導者が定期的に学校へ赴き、生徒とともに運動の楽しさを分かち合う機会を試行で設ける。なお、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブとの連携・協力体制の構築に向けた検討を行います。 なお、運動部活動への支援体制づくりと一体的に検討します。	7月11日(木)に「中学生期のスポーツ活動検討会議」で「ゆるスポーツクラブ」の設置に関する検討も行った。	令和3年度に両中学校各2回ずつ「ゆる部活」を行う計画を立てた。	B	コロナ禍で部活動等が自粛や制約を受ける中、新規の活動を取り入れがたい実状があった。来年度「ゆる部活」の試行にめどがついたため、効果やニーズについて検証していく。	

## Ⅱ 前期アクションプランにおける取組（事業）の進捗管理評価シート

### 基本目標2 誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

年齢、性別、障がいの有無等を問わず、誰もが自分のライフステージに応じたスポーツ活動に取り組めることは、生涯を通して幸福で豊かな生活を営むための基盤です。

よって、健康長寿社会、ユニバーサル社会の実現に向けた取組みを優先的に行い、スポーツ活動を支える人づくりや、環境整備等によってさまざまなライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、生涯にわたる地域スポーツの振興を図ります。

個票No.	担当課	基本施策	個別施策	取組（事業）名	取組み（事業）の概要	前年度実績	本年度実績	評価	評価説明	評価に対する意見・要望等
2-1-①-1 P11	文化スポーツ振興課	2-1 スポーツ参加のきっかけとなる機会（イベント）の充実	① 市民参加型スポーツ大会・教室の開催、チャレンジデーへの継続的取組み	チャレンジデーへの継続参加	①チャレンジデー東御市実行委員会の設置：広報活動、関係団体への協力依頼、プログラム内容の決定） ②各年度の目標・テーマの設定 ③広報活動として、地域にチャレンジデーの取組み意義を知ってもらうため、広報誌 や地元新聞、ラジオ、CATV等のメディアを活用して、チャレンジデー当日のイベントや参加方法について積極的に周知する	・対戦自治体 青森県藤崎町 ・東御市 人口 30,259 人中 18,261 人参加（参加率 60.3%） ・藤崎町 人口 15,159 人中 10,666 人参加（参加率 70.4%） ・結果 惜敗 惜しくも敗退したが、参加率 50%以上を達成し、金メダルを獲得した。	チャレンジデー東御市実行委員会を設置し、関係団体への協力依頼、また、広報・HP等による周知を行ったが新型コロナウイルス感染症対策によりチャレンジデーが中止となった	C	新型コロナウイルスの影響により、全国一斉で中止となった。 来年の5月に参加予定だったチャレンジデーも10月への延期が発表された。動画配信により市民に運動する機会を提供するなど代替での運動促進も模索していく。	
2-2-①-1 P12	健康保健課	2-2 青壮年期のスポーツ活動の促進	① 働き盛り世代へのスポーツ活動の普及・促進	健康づくり事業（ウォーキング教室）	1 ウォーキングマップを活用したウォーキング教室 ①ウォーキング教室（ウォーキングポール教室、インターバルウォーキング教室、スロージョギング教室）の開催 ②地区保健指導員と地域づくり協議会との共催によるウォーキング教室の開催 2 運動指導出前講座 生涯学習課が実施する出前講座で健康保健課主体の運動に関する講座を実施。	1 ①ウォーキング教室 実績：計 19 回 289 人 実績： ポールウォーキング教室：4回 インターバル速歩教室：4回 スロージョギング教室：4回 湯の丸高原ウォーキング教室：7回 ② 地区保健指導員と地域づくり協議会との共催によるウォーキング教室 実績：5地区実施 2 運動指導出前講座 実績：計 16 団体 593 人 その他 各種運動教室 実績：161 人 実績： ACE 教室：3回、重症化予防プログラムにおける教室：1回、特定健診受診者を対象とした運動教室：15 回 実績：運動教室総参加人数 1043 人	1 ①ウォーキング教室 実績：計 14 回 152 人（予定含む） 実績： ポールウォーキング教室：4回 インターバル速歩教室：4回 スロージョギング教室：4回 湯の丸高原ウォーキング教室：2 回 ② 地区保健指導員と地域づくり協議会との共催によるウォーキング教室 実績：4地区実施（滋野地区のみ中止） 2 運動指導出前講座 実績：計9団体 235 人（予定含む） その他 各種運動教室 実績：43 人（予定含む） 実績： ACE 教室：1回、 特手健診受診者を対象とした運動教室：15 回 実績：運動教室総参加人数 430 人（予定含む）	A	新型コロナウイルスの感染予防に配慮し予定通りの開催日数を実施したため。  変更した点 1 開催時期の変更（5月～2月→9月～3月） 2 屋外での実施 3 室内で行うものに人数制限の設定  コロナ渦で集まって運動を行う機会が減ってしまったため、運動動画を作成した。ホームページ、広報に掲載を行った。	

## Ⅱ 前期アクションプランにおける取組（事業）の進捗管理評価シート

個票No.	担当課	基本施策	個別施策	取組（事業）名	取組み（事業）の概要	前年度実績	本年度実績	評価	評価説明	評価に対する意見・要望等
2-2-①-2 P13	文化スポーツ振興課	2-2 青壮年期のスポーツ活動の促進	①働き盛り世代へのスポーツ活動の普及・促進	親子参加型スポーツ教室の実施	1 プログラムの検討(例:各種エクササイズ、ラージボール卓球、バドミントン、ランニング等) 2 企業の「健康経営」等と連携した取組みの検証 3 各プログラムの指導者発掘 4 積極的な周知及び募集	未実施	東御市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会が主催となり11月に親子参加型のユニバーサルスポーツ体験会を実施した。参加者は255人と多くの参加があった。	A	親子参加型イベントとして初めての取組みであったが、多くの参加があり、市民にとって需要があることが分かった。ポッチャ、ラダーゲッターのような誰でも遊べるユニバーサルスポーツから新しいスポーツとして注目を集めているスラックラインなど計6種目を用意し実施した。来年度も継続していく予定。 (また、来年度の取組みとして、部活帰りの子ども、仕事帰りの大人を対象にした体ほぐしの教室を定期的に予定している。)	
2-3-①-1 P14	文化スポーツ振興課	2-3 スポーツ施設等(ハード)の整備と活用	①スポーツ施設の適正管理	スポーツ施設長寿命化計画の策定	対象施設の現状を調査し、東御市スポーツ施設長寿命化計画(仮)を策定する。 また、利用実態や利用者ニーズの把握に努め、対象施設にはバリアフリー化を行い、利用者の利便性・安全性を向上させる。	令和元年度は各施設の現状調査を行った。	令和2年度は「東御市スポーツ施設個別施設計画」を策定した。	A	「東御市スポーツ施設個別施設計画」の策定により、各施設の状況把握、長寿命化に係る予算の把握及び各施設の抱える課題の洗い出しが可能となったことにより、今後は計画的な更新計画を組むことが可能となった。	
2-4-①-1 P15	文化スポーツ振興課	2-4 地域スポーツ活動組織・人材等(ソフト)の充実	①スポーツ推進委員活動の強化	スポーツ推進委員組織体制の検討	・専門部制の導入…専門部制(広報部、事業部、研修部等)を導入し、スポーツイベントの改善や提案を行います。指導者養成講座やスポーツ推進委員の資質向上を図るような研修を行います。 ・地区担当制の導入…スポーツ推進委員を2地区(例:北御牧・滋野・田中/和・祢津)に分け、地域に合ったスポーツイベントが開催できるような組織の実現に向け取組めます。 ・ボランティアスタッフの活用…ボランティアスタッフを活用し、新たなスポーツイベントの開催の協力など、より幅の広い活動ができる組織を目指します。 ・ホームページ、市報等での推進委員の活動、役割を積極的にPRします。	年12回の定例会の実施 スポーツ事業への派遣 現状と課題の洗い出し	・専門部制について総合型設立準備委員会に関わっている委員を企画部とし、計画の進め方について意見をもらっている。試験的なものであり、今後さらに部を増やしていく。 ・地区担当制について委員の中で当市規模でうまく運営ができるか不安であるとの声があり、導入には至っていない。 ・ボランティアスタッフについて、今年度スポーツ推進委員が企画運営をし行ったボルダリングイベントで4名のボランティアの協力があった。	B	今年度は、例年行っているスポーツ業務の補助業務に加え、地域のスポーツ振興をコーディネートできる組織を目指し、会議・活動を行ってきた。概ね予定どおり進んだものの、停滞しているものがある。来年度は、主に停滞している部分について定例会で話し合いより地域のスポーツ推進役として地域のスポーツ振興をコーディネートできる組織を目指していく。	

## Ⅱ 前期アクションプランにおける取組（事業）の進捗管理評価シート

個票No.	担当課	基本施策	個別施策	取組（事業）名	取組み（事業）の概要	前年度実績	本年度実績	評価	評価説明	評価に対する意見・要望等
2-4-③-1 P16	文化スポーツ振興課	2-4 地域スポーツ活動組織・人材等（ソフト）の充実	③総合型地域スポーツクラブや人材バンク（仮称）の創設	総合型地域スポーツクラブの創設・運営支援	<p>体育協会、スポーツ推進委員、スポーツ少年団、スポーツ推進審議会等の関係団体において地域スポーツの課題解決に向けた話し合いを重ね、「地域に求められる」総合型地域スポーツクラブを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設立準備会の開催</li> <li>・現状及びスポーツニーズの把握</li> <li>・クラブマネージャーの育成</li> <li>・ニーズに応える実践プログラムの構築</li> <li>・各種指導者及びボランティアの発掘・確保</li> <li>・体育協会、スポーツ推進委員との連携体制の構築</li> <li>・会員確保に向けたPR活動</li> <li>・小学校での放課後のスポーツ活動支援</li> </ul>	令和元年6月東御市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会発足。現状把握、ニーズ調査のためのアンケート実施。スポーツ庁 toto 助成（総合型地域スポーツクラブ創設支援事業）の活用。	令和3年2月の設立予定であったが、新型コロナの影響により、設立までの事業計画が進めず、設立時の総合型地域スポーツクラブの財源となる toto 助成の設立要件を満たす事ができず、設立を1年（令和4年2月）に延期した。	C	新型コロナによる影響で、市のスポーツイベントがすべて中止となる中、会員獲得のためのイベントやPR活動を実施することができなかった。	
2-4-③-2 P17	文化スポーツ振興課	2-4 地域スポーツ活動組織・人材等（ソフト）の充実	③総合型地域スポーツクラブや人材バンク（仮称）の創設	スポーツ指導員人材バンクの創設	<p>体育協会、各競技団体、スポーツ関係団体、企業、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ等との連携により多種多様な指導者及びボランティアの募集、掘起し、また積極的な指導者資格の取得に向けた支援体制を構築する。また、スポーツ指導員の登録制度を確立し、市内の団体、学校部活動、地域スポーツクラブ等へ指導員を紹介できる体制構築を図ります。</p>	<p>スポーツ協会主催によるスポーツ指導者の資質向上を目的とした指導者育成講座2回開催。延16団体51名参加。</p> <p>競技別指導者養成講座に延25名が参加。</p>	<p>新型コロナによりスポーツ協会主催による指導者育成講座は中止とした。ボランティア養成のため総合型地域スポーツクラブ準備委員会による子ども見守りたい養成講座を5回開催し、延べ48名が参加。</p>	C	新型コロナにより積極的な活動ができなかったが、引き続き、指導者育成、発掘に向けた取組みと、支援体制の構築を早期に整備していく。	
2-5-①-1 P18	福祉課	2-5 スポーツを通じたユニバーサルな地域社会づくり	①身近で実施できるユニバーサルスポーツ、レクリエーション活動等の充実	一般介護予防事業	<p>1 らくらく教室（頭と体を無理なく刺激する介護予防教室） 地区公民館で、それぞれ週1回通年で実施</p> <p>2 かんたん体操教室（ストレッチ、全身の筋肉を意識した運動） 武道館等で月2回通年で実施</p> <p>3 貯筋教室（腹筋やスクワットなどの筋カトレーニング） 武道館等で月2回通年で実施</p> <p>4 転倒予防水中ウォーキング（水中でのストレッチ、ウォーキング等） 温泉アクティブセンターで毎週1回通年で実施</p>	<p>らくらく教室 212回 3,907人</p> <p>かんたん体操教室 19回 483人</p> <p>貯筋教室 19回 658人</p> <p>水中ウォーキング教室 44回 492人</p>	<p>らくらく教室 247回 1,934人</p> <p>かんたん体操教室 22回 280人</p> <p>貯筋教室 22回 354人</p> <p>水中ウォーキング教室 25回 387人</p>	B	<p>今年度については、コロナ感染拡大防止を目的として、市内及び近隣市町村において感染レベルが一定以上の場合は各教室を一時中止とした。</p> <p>なお、開催する場合についても、広い会場を利用することや、1日1回の開催を2回に分けるなど、3密対策を行いながら教室を開催した。</p> <p>来年度についても、感染状況を考慮しながら、可能な限り介護予防教室を開催する。</p>	

## Ⅱ 前期アクションプランにおける取組（事業）の進捗管理評価シート

個票No.	担当課	基本施策	個別施策	取組（事業）名	取組み（事業）の概要	前年度実績	本年度実績	評価	評価説明	評価に対する意見・要望等
2-5-②-1 P19	みんなの健康×スポーツ実行委員会・福祉課	2-5 スポーツを通じたユニバーサルな地域社会づくり	②障がいの有無や地域の内外を問わずに多様な交流ができるスポーツイベント等の開催	とうみポッチャオープン大会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポッチャの大会+1種目のユニバーサルスポーツ体験会を実施</li> <li>・県及び他団体の取り組みと連携を図り、年間を通じてストーリー性のあるイベントとする</li> <li>・団体や組織、学校、施設からチーム出場を募るため、事前練習会を開催</li> </ul>	未実施	コート常設数 2箇所 体験延べ人数 386人	B	<p>新型コロナウイルスの影響により、プレ大会の実施には至らなかったが、緊急事態宣言解除後の6月から2月にかけて計8回のポッチャイベントを開催し、ポッチャ体験者数は延べ386人となっている。</p> <p>コート常設数については、市役所関係課と連携し、増設に向け協議していく。</p> <p>また、日本スポーツ協会の「スポーツ事業継続支援補助金」を利用し、種類の異なる4つのポッチャセット・レク用ポッチャシートを導入した。来年度は導入した物品の貸出やプレ大会を実施することで、より一層ポッチャ人口を増やし、障がい者への理解を深めていく。</p>	
2-5-③-1 P20	文化スポーツ振興課	2-5 スポーツを通じたユニバーサルな地域社会づくり	③市民の障がい者スポーツ・ユニバーサルスポーツとの触れ合い	みんなの健康×スポーツ実行委員会運営支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの目標を作り、積極的な参加を促す</li> <li>公民館：分館対抗スポーツ大会の種目とし、それに向けての日々の活動</li> <li>児童館：とうみポッチャオープン大会への出場を目標にあそびへの取り組み</li> <li>・講師を派遣しての定期練習会の開催</li> </ul>	<p>実行委員会の実施4回 〈ユニバーサルスポーツイベントの開催〉 地域の色々な人が集う機会に合わせた啓発イベントを2事業実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジデーに合わせポッチャの実施。</li> <li>・パラリンピアン交流イベントとして、しんたい20周年記念事業イベントでのポッチャ実施。</li> <li>〈ユニバーサルスポーツクラブの支援〉 ユニバーサルスポーツクラブの場づくりへの支援として4事業実施。</li> <li>・わくわくスポーツクラブ全8回のポッチャイベントの開催</li> <li>・東御市総合体育大会に合わせてポッチャ大会の実施</li> <li>・ポッチャ交流大会2020の開催支援</li> <li>・関係団体と連携し誰もがスポーツに参加できるきっかけづくりの支援。</li> </ul>	<p>実行委員会の実施4回 ユニバーサルイベントとして、緊急事態宣言解除後の6月から2月にかけて計8回のポッチャイベントを開催した。</p> <p>また、公民館や学校のクラブ活動にスポーツ推進委員を講師として派遣し、ポッチャの普及活動に取り組んだ。</p>	B	<p>新型コロナウイルスの影響により、例年実施している大会及びプレ大会の実施には至らなかったが、</p>	



## Ⅱ 前期アクションプランにおける取組（事業）の進捗管理評価シート

個票No.	担当課	基本施策	個別施策	取組（事業）名	取組み（事業）の概要	前年度実績	本年度実績	評価	評価説明	評価に対する意見・要望等
2-5-③-2 P21	教育課	2-5 スポーツ を通じた ユニバー サルな地 域社会づ くり	③市民の 障がい者 スポーツ・ ユニバー サルスポ ーツとの 触れ合い	公民館、 児童館で のポッチャ 活動	・それぞれの目標を作り、積極的な 参加を促す 公民館：分館対抗スポーツ大会 の種目とし、それに向けての日々 の活動 児童館：とうみポッチャオープン大 会への出場を目標にあそびへの取 り込み ・講師を派遣しての定期練習会の 開催	ポッチャ体験を各児童館にて、スポ ーツ系の指導員のもとに1～3回実 施。北御牧児童館は夏休み等に自 主的に8回実施。	新型コロナウイルス感染症拡大防 止のため、実施せず。	C	新型コロナウイルス感染症の 状況を見ながら、ポッチャ体 験教室の実施を検討してい く。 各児童館2回延べ10回実施 予定。（夏休み等の長期休暇 中）	
2-5-③-2 P21	生涯学習課	2-5 スポーツ を通じた ユニバー サルな地 域社会づ くり	③市民の 障がい者 スポーツ・ ユニバー サルスポ ーツとの 触れ合い	公民館、 児童館で のポッチャ 活動	・それぞれの目標を作り、積極的な 参加を促す 公民館：分館対抗スポーツ大会 の種目とし、それに向けての日々 の活動 児童館：とうみポッチャオープン大 会への出場を目標にあそびへの取 り込み ・講師を派遣しての定期練習会の 開催	未実施	・分館活動においてユニバーサルス ポーツの普及促進 ・公民館に設置しているポッチャに ついての貸出の周知	B	・コロナ禍であり、各地区分館 交流スポーツ大会等の中止や 各区公民館活動の自粛により ポッチャの貸出利用が昨年に 比べ大幅に減少したため	
2-5-③-3 P22	教育課	2-5 スポーツ を通じた ユニバー サルな地 域社会づ くり	③市民の 障がい者 スポーツ・ ユニバー サルスポ ーツとの 触れ合い	小・中学 校におけ るユニバ ーサルス ポーツ体 験	・小・中学校の教員向けにユニバ ーサルスポーツの講習会を実施 ・小・中学校においてユニバーサル スポーツに触れる機会の充実を図 る	未実施	令和3年度に各小学校6年生を 対象に「パラウェーブ NAGANO 教 育プロジェクト」の一環として、障 がい者スポーツに取り組む計画を 立てた。	A	小学校のこれまでの人権教 育の題材を組み替え、6年生 でパラスポーツに特化した取 り組みができるようになった。 中学校でも可能かどうか検討 する。	

## Ⅱ 前期アクションプランにおける取組（事業）の進捗管理評価シート

### 基本目標3 スポーツによる地域経済の活性化

本市の強みである湯の丸高原高地トレーニング施設を起爆剤として、官民が一体となり、スポーツ合宿の誘致、観光と連動したスポーツツーリズムを推進することで、知名度の向上や交流人口の拡大による地域経済の活性化を図ります。なお、スポーツ合宿・イベントの誘致によって、外から多くの人を誘い、交流人口の増加、ブランド化による集客増加の好循環を生み出すことで、更なる地域経済の活性化へとつなげるとともに、専門機関との連携により、施設整備により実施している高地トレーニングの効果、スポーツツーリズムによる経済効果の検証・分析を行い、今後の地域にとっての経済活性化方策についても検討します。

個票No.	担当課	基本施策	個別施策	取組(事業)名	取組み(事業)の概要	前年度実績	本年度実績	評価	評価説明	評価に対する意見・要望等
3-1-①-1 P23	文化スポーツ振興課	3-1 スポーツツーリズムの推進	①地域スポーツコミッションの設立	「地域スポーツコミッション」の運営支援	1 湯の丸高原全体の内部統制機能の構築 ①合宿・施設利用の受付／問合せ一本化、②各施設(宿泊、食事、施設)に関する意見収集、評価／分析、③スポーツ合宿の全体統制やPR活動等に関わる予算管理  2 組織の経営的自立(来訪者の増加/維持) ①高い専門性とマーケティング力を持つ人材の確保、②プロモーション活動、③スポーツを核とした幅広い事業(イベント等)の企画／運営、④組織の収益源の確保	R2.3.4 に一般社団法人とうみ湯の丸高原スポーツコミッションを設立。  東御市湯の丸高原特有のスポーツ資源並びに特徴ある観光資源を最大限に活用し、スポーツイベントの開催、合宿誘致等を一元的に行い、本市の魅力発信を行うとともに、さらなるスポーツの振興、交流人口の拡大を促進し、地域経済の活性化とスポーツにあふれた、活力と魅力あるまちづくりに寄与することを目的とする。	合宿受入の予約・精算等を一元的にすることで、利用者の利便性が向上した。 新規顧客獲得を目的としたイベント開催については、新型コロナウイルスの影響により実施できなかったものの、関係施設における感染拡大防止策の策定、各種補助金を活用した必要物品の導入など関係者と連携した対応を行った。	B	合宿数、プロモーション活動については、当初の予定を大きく下回る結果となったものの、新型コロナウイルスへの対策・対応など関係者が一体となって取り組みを行えるよう連携体制を構築した	
3-1-②-2 P24	文化スポーツ振興課	3-1 スポーツツーリズムの推進	②湯の丸高原スポーツ交流施設等でのイベント開催や合宿受入	スポーツツーリズムイベントの開催	①テレビ、雑誌、新聞等によるメディアを活用した積極的なプロモーション活動 ②信州とうみ観光協会による、首都圏からの誘客による陸上、水泳のスポーツツーリズムイベントの開催 ③令和2年度からのスポーツコミッション設立後は、湯の丸スポーツ交流施設一帯の施設運営、プロモーションによるスポーツツーリズムイベント開催、合宿受入等を一元的にマネジメントする	①高地トレーニング体験セミナー ・開催日：R1.11.23～11.24 ・参加者：31名  ②第2回東御市湯の丸高原ランニングカーニバル ・開催日：R1.7.28 ・参加者：84名  ③第2回湯の丸高原小学生駅伝大会 ・開催日：R1.9.29 ・参加チーム：14チーム	年度当初、スポーツツーリズムイベントの開催を、陸上1回、水泳2回予定していたが、新型コロナウイルスの影響で開催できなかった	C	新型コロナウイルスの影響によりすべてのツーリズムイベントが中止となった。 ただし、施設利用を体験するイベントだけではなく、指導者向けに高地トレーニング方法を学ぶイベント開催に向けた検討を行うことができ、次年度につながる取り組みができた。	

## Ⅱ 前期アクションプランにおける取組（事業）の進捗管理評価シート

個票No.	担当課	基本施策	個別施策	取組（事業）名	取組み（事業）の概要	前年度実績	本年度実績	評価	評価説明	評価に対する意見・要望等
3-1-④-1 P25	企画政策係	3-1 スポーツ ツーリズムの推進	④ホスト タウン事業の推進	モルドバ 共和国ホ ストタウ ン交流事 業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会へ出場する選手との交流により、トップアスリートと触れ合う機会を設ける</li> <li>・2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会でモルドバ共和国の選手が出場する試合のパブリックビューイングを行う。</li> <li>・2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会へ出場する選手の事前合宿をサポートし、「ささえる」取組を行うと共に、合宿適地であることのPRを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東御ワインフェスタにモルドバワインブース出展。</li> <li>・モルドバ大統領表敬訪問。</li> <li>・小学生による壁画作成プロジェクト</li> <li>・モルドバ郷土料理とワインを楽しむ会。</li> <li>・モルドバ訪問予定であったが中止。</li> </ul>	<p>令和2年9月駐日モルドバ大使送別会。</p> <p>令和3年2月市内保育園においてモルドバのおやつ交流</p>	B	<p>新型コロナによる影響から計画していた一部事業は中止となつた。</p> <p>2020 東京大会における事前合宿・事後交流については現在調整中。</p>	
3-2-①-1 P26	文化スポーツ振興課	3-2 スポーツ を活かした地域の 活性化	①産官学 等の連携 による湯 の丸高原 での高地 トレーニング 及び ツーリズム の知見 蓄積	湯の丸高 原スポー ツ交流施 設整備に 伴う経済 効果検証	<p>スポーツビジネスの専門機関との共同研究及び分析を実施</p> <p>① 対象事業の整備運営に関する情報収集</p> <p>② 地域経済付加価値分析</p> <p>③ 経済的価値を高めるための方策の検討</p>	<p>令和元年度から令和3年度までの継続事業。</p> <p>(1)地域にもたらされる経済的価値の算出</p> <p>①対象事業の整備運営に関する情報収集</p> <p>②地域経済付加価値分析</p> <p>(2)経済的価値を高めるための方策の検討</p> <p>対象:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・400mトラックレーンの整備及び運営</li> <li>・屋内運動施設(50m特設プール)の整備及び運営</li> <li>・高原荘の整備及び運営</li> </ul>	<p>(1)地域経済付加価値のシュミレーション</p> <p>①追加で派生した民間事業の把握と検証</p> <p>②既存施設の運営パターンの変更による地域経済付加価値の変動分析</p> <p>(2)波及的な消費に関する分析</p> <p>(3)経済的価値を高めるための方策の検討・提案</p> <p>対象:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年目の施設の整備及び運営</li> <li>・その他、周辺の民間事業</li> </ul>	B	<p>経済効果検証業務2年目の今年は、新型コロナ禍において、休業期間を設けるなど例年のない運営状況となった。またスポーツ合宿の受入については、湯の丸高原から外出を制限するなど利用者への制限を設けるなど、極めて稀な年であり、比較することが難しい1年であった。</p>	

## Ⅱ 前期アクションプランにおける取組（事業）の進捗管理評価シート

個票No.	担当課	基本施策	個別施策	取組（事業）名	取組み（事業）の概要	前年度実績	本年度実績	評価	評価説明	評価に対する意見・要望等
3-2-①-2 P27	文化スポーツ振興課	3-2 スポーツを活かした地域の活性化	①産官学等の連携による湯の丸高原での高地トレーニング及びツーリズムの知見蓄積	高所トレーニング国際シンポジウム」の開催支援	シンポジウムの当市開催に向けた誘致活動、高所トレーニング環境システム研究会との連絡・調整、PR活動等で開催を支援する。	第22回高所トレーニング国際シンポジウム ・開催日：R1.11.9～11.10 ・会場：東御市 湯の丸高原スポーツ交流施設（湯の丸高原ホテル）	今年度、他県において開催予定であった高所トレーニング国際シンポジウムは、新型コロナウイルスの影響により中止となった。 来年度の開催地はまだ決定していないが、今後も投資にとっても有益となる当シンポジウムへ協力していく。	B	他県での開催予定であったため、市取り組みとして大きな問題は生じなかった。	
3-2-②-1 P28	文化スポーツ振興課	3-2 スポーツを活かした地域の活性化	②専門機関等とのサポート連携協定の推進	大学等との包括連携協定による地域スポーツ環境の充実	・スポーツにおける地域資源の発掘等に関する調査・共同研究 ・高地トレーニングの聖地「湯の丸高原」のブランド化へ向けた提言 ・合宿の食事管理への監修、検査等による栄養分野でのサポート	①女子栄養大学との連携協力に関する包括協定締結 ・締結日：R2.2.14 ②経済波及効果検証 ・湯の丸施設整備・運営に関する地域付加価値分析	【高地合宿向け食事メニューの監修・助言】 女子栄養大学へ高地トレーニング合宿向け食事メニューの監を委託した。監修により飛躍的に内容が改善され、利用者からも高い評価を得ている。 【経済波及効果に向けた施策提言】 昨年度に引き続き、日本体育大学に効果検証を委託した。関連企業にヒアリングを行い、高地トレーニング施設に関連した地域経済付加価値のシュミレーション、波及的な消費の分析、経済的価値を高めるための方策を検証した。	A	食事メニューの監修によって、アスリート食が定着し、利用者からの評価も高い。来年度オリンピックの開催年度、新しい宿泊施設の建設によって更なる利用者が拡大される見込であり、高地トレーニング効果の向上のための食事メニューの開発や食物アレルギーへの対応、衛生管理の徹底など多面的な取組を行う必要があり、今後も継続したサポートが必要である。 新型コロナによる影響もあり、検証ができていない部分もあるが、来年度は検証の最終年度にあたり、今後の地域活性化に向けた提案が期待される。	

## Ⅱ 前期アクションプランにおける取組（事業）の進捗管理評価シート

### 基本目標4 競技スポーツ人口の拡大と競技力向上

地元の選手が大きな舞台で活躍する姿は、観るものに感動と勇気を与えるばかりでなく、地域に元気とスポーツへの興味を生み出します。

将来、国内トップレベルとなる選手を本市から輩出するため、指導者の育成、学校部活動の体制整備、競技スポーツ人口の拡大などに取組み競技力の向上を図ります。

本市への合宿誘致を通じて、トップレベルの競技者、指導者を身近に見る機会から選手、指導者のレベルアップを図ります。また、湯の丸高原を国内屈指の高地トレーニングエリアとして整備し、積極的なプロモーションをすることで競技者・指導者を招聘し、この地域ならではの交流機会の充実を図ります。

個票No.	担当課	基本施策	個別施策	取組(事業)名	取組み(事業)の概要	前年度実績	本年度実績	評価	評価説明	評価に対する意見・要望等
4-1-①-1 P29	文化・スポーツ振興課	4-1 スポーツ愛好から競技志向への円滑な接続	①トップレベルの競技スポーツの魅力に触れる機会の提供	トップアスリートとの交流イベント開催	・練習見学 ・指導者及び選手との触れ合いイベントの開催	①第2回東御市湯の丸高原ランニングカーニバル 講師：長距離トップランナーで長野県出身の上野裕一郎選手 ・開催日：R1.7.28 ・参加者：84名  ②金藤理絵さん水泳教室	GMOアスリート(陸上長距離実業団チーム)及び金藤理絵さん(水泳金メダリスト)との交流、練習指導イベントを予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。	C	新型コロナウイルスの影響によりすべてのイベントを中止したため。	
4-2-①-1 P30	文化・スポーツ振興課	4-2 高みを目指す人々への支援	①強化選手や一流指導者等への奨励・表彰制度の充実	スポーツ表彰制度の創設	①表彰対象及び区分の選考 ②表彰基準の検証及び策定 ※東御市表彰規則の整合等 ③表彰規定の検証及び策定 ※東御市表彰規則の整合等 ④表彰対象者の情報収集	制度なし	制度創設に至らなかった。来年度、他市町村を参考にすなど今後の検討としたい。	C	本年度着手できなかった案件であり、来年度他市町村の制度等を参考に当市にあったスポーツ表彰制度を策定していく。	

## Ⅱ 前期アクションプランにおける取組（事業）の進捗管理評価シート

個票No.	担当課	基本施策	個別施策	取組（事業）名	取組み（事業）の概要	前年度実績	本年度実績	評価	評価説明	評価に対する意見・要望等
4-2-②-1 P31	東御市スポーツ協会	4-2 高みを目指す人々への支援	②競技レベルに応じた練習環境に移行するための支援	スポーツ体験会・スポーツ能力測定会の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・測定の実施</li> <li>・測定データの分析、フィードバック</li> <li>・最も適した種目との紐づけと更なる能力向上の専門的アドバイスを行う</li> </ul>	未実施	総合型地域スポーツクラブと連携しニュースポーツを体験する「おもしろスポーツ体験会」を開催し、200名を超える参加者があった。	B	「おもしろスポーツ体験会」には多くの参加者があったことから継続して実施し、運動あそび、スポーツに取組むきっかけづくりとしていきたい。併せて運動測定会についても、関係機関と連携し取組んでいく。	
4-2-③-1 P32	文化・スポーツ振興課	4-2 高みを目指す人々への支援	③高地トレーニング環境整備と連動したトップアスリートや指導者等の招聘	湯の丸高原スポーツ交流施設合宿者との交流会・実技指導教室の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合宿者への打診、連絡・調整</li> <li>・練習見学会の開催</li> <li>・指導者及び選手による技術指導</li> <li>・指導者及び選手による講演、またはディスカッションの開催</li> </ul>	新規取組のため実績なし	高地トレーニングを取り入れたい指導者向けに、練習方法、指導方法を学ぶセミナーを企画したが新型コロナウイルスの影響により中止となった。 予定講師：日本体育大学准教授岩原文彦氏	B	中止となったものの、日本水泳連盟競泳委員・科学委員等も兼任し公認上級水泳コーチの資格も有し高地トレーニング有識者の岩原文彦氏と様々な意見交換を行い、来年度につながる成果があった。	
4-2-④-1 P33	文化・スポーツ振興課	4-2 高みを目指す人々への支援	④東御市、湯の丸高原へスポーツ合宿に訪れた選手やチームへの応援	東京2020オリンピック競技大会コミュニティライブサイトの実施	2020東京オリンピックの開催期間中、ゆうふる tanaka にコミュニティライブサイトを設置するとともに、GMOアスリートパーク湯の丸ではオリンピック及びパラリンピック期間中にパブリックビューイングを開催し、湯の丸高原で合宿を積んだオリンピック、パラリンピアンを市民が一体となって応援をします。	新規取組のため実績なし	東京2020オリンピック競技大会延期に伴い、コミュニティライブサイトも延期とした。 次年度について、新型コロナ感染拡大防止の観点からも中止とする。	C	令和3年度実施断念	

